

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 安城市立安城中部小学校 ] 担当教諭名 [ 二村 彰久 ] ( 6年2組 33名 )

相手国・地域 [ インド ]

海外学校名 [ Suncity School ] 担当教諭名 [ Kalyani Voleti ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	Many Lands One World ～つながろう世界の友達～	70
	国語	防災ポスターを作ろう 世界に向けて意見文を書こう	14
	図画工作	協働制作壁画をえがこう	10

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Connect to the Future! Our Planet and Our Smiles! ～未来へつなげ！私たちの地球と笑顔～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私たちは、地球の市民として、母なる地球を救うために、どんな小さな努力も惜しんではならないと考えます。ひとりひとりが地球の資源を守り、責任ある行動をとる必要があります。私たちは、美しい地球の未来を願う心を、世界の仲間たちと共有し、手を取り合うことを誓います。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集能力、ICT活用能力、英語を話すことを含めた表現力が高まった。</li> <li>世界で起きている諸問題は自分たちと無関係ではなく、個々の責任ある行動の大切さに気付き、実践への意欲を高めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTをとりまく環境や、レベルの差を感じた。</li> <li>英語でのコミュニケーションはハードルが高く、オンライン会議に向けての準備に時間がかかった。</li> <li>SDGsについて深掘りしすぎ、多くの時間がかかってしまった。全体のバランスを考えることが必要。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsを扱うことで、文化が違っても同じ願いをもっていることを知り、互いの考えに共感しつつ、興味をもつことができた。</li> <li>自己紹介で親近感を覚えたことで、インドの文化に強く興味をもった。異文化のよさを知るとともに、日本のよさにも気づくことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の教育を受けている子どもたちは、世界の中ではコミュニケーション力、語学力、ICT活用能力で劣っていることを実感した。</li> <li>海外の先生との協働では、臆することなく自分の考えを伝えることでよりよい学習をともにすることができると分かった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	4月 ～ 6月	・市役所SDGs課職員によるSDGsについての講演・SDGsについての学習 ・自己紹介資料作成 ・オンライン自己紹介	SDGsを自分事としてとらえ、身近な行動から変えていく必要性を理解した。また、自己紹介では慣れない英語で必死に伝えようとする姿が見られた。	総合15
共有 テーマ学習	5月 ～ 7月 9月	・インドについての調べ学習 ・ONLY中部のSDGs(主に三河湾の環境・水産資源についての学習) ・フォーラムを使ったグループ交流	個々の調べ学習の内容を共有するうちに、インドの魅力を知った。また、矢作川の中流域に住む自分たちの責任と役割について考えた。	総合25 国語7
融合 メッセージ作成	10月 11月	・テーマごとのグループによる調べ学習→相手校への情報提供(フォーラム) ・オンライン会議による意見交換 ・「Dear Earth 宣言」の作成 ・フォーラムを使ったグループ交流	インドの友達の調査内容や意見について、共感的に思いを聞き、共通の願いを見つけることができた。また、インドの友達に倣い、自分たちにできることを宣言として形に残したいという思いをもち、実行した。	総合10
創造 壁画制作	11月 ～ 1月	・壁画デザインについての意見交換 ・インドの友達へのプレゼント作り ・日本側壁画制作→郵送 ・インド側制作への応援メッセージ	インドの友達の最初のラフスケッチから、共通の願いと交流の思い出を壁画に表したいという思いを膨らませ、全員で大切に描いた。	総合5 図工10
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	・校内学習発表会 ・壁画鑑賞会 ・オンライン会議による壁画作りの感想交流、ラストメッセージ交換 ・卒業式での壁画披露	学習発表会では、テーマごとのグループで発表し、1年間の学習の成果を保護者、5年生に堂々と伝えた。交流が終わる名残惜しさを感じながらも、素晴らしい交流であったことを称え合うことができた。	国語7 総合15

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	インドの友達に親近感を覚え、友達の国について知りたいという思いが起点となり、異文化を魅力的に捉えた。文化は違っても、共通する思いがあることに気づけたことが最大の学びとなった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	SDG14にかかわる様々な取り組み、事象について情報収集を行ったり、インドの友達の思いを聞いたりすることで、それまでの自分の考えを省みながら、これから自分がどうかかわっていくべきか、世界はどう手を取り合っていくべきかについて、考えを深めることができた。
主体的に考え行動する力	4	インドの友達の学習への取り組みに刺激を受け、自分たちも取り組んでみたいという思いを形にしたり、インドの友達を喜ばせたい、励ましたいという願いを行動に移したりする姿が見られた。しかし、多くの場面で教師の支援が必要であった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	壁画のデザインを決める中で、自分たちの描きたいことや大切にしたい思いを主張したり、インドの友達の考えを肯定的に捉えたりしながら、互いの思いが詰まった作品をつくりあげることができた。また、インドの友達との対話を経て、地球の未来に向けた様々な取り組みとともに、国境を越えたつながりの大切さを互いに見出すことができた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	美しい地球の未来に向けて大切なことを「Dear Earth 宣言」にしたり、自分たちの思いもインドの友達の思いもふんだんに取り入れた壁画を完成させたりすることができた。感じたことをそのまま言葉に表現することが、心温まる交流につながったと感じる。